

## 2.クイックスタート

この章では、電子納品チェックソフトの簡単な操作手順について説明します。

## クイックスタートの操作手順

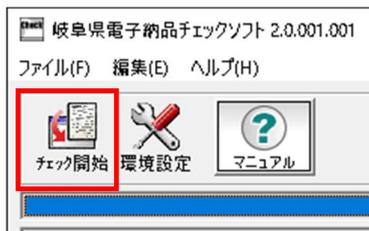
### 1. 電子納品チェックソフトの起動

デスクトップにあるアイコンをダブルクリックします。



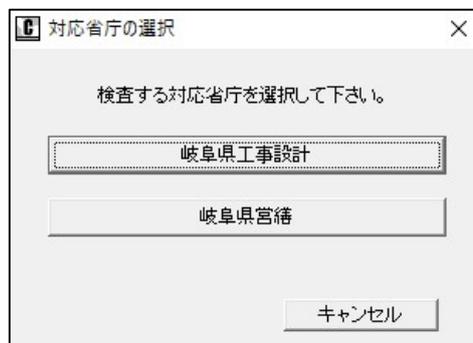
### 2. チェック開始

メイン画面左上の [チェック開始] をクリックします。



### 3. 対応省庁（対応編）選択

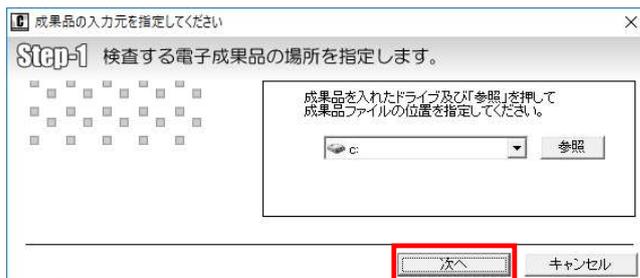
検査する成果品に対応する種別をクリックします。



## 4. 検査する電子成果品の場所を指定（STEP1）

成果品を入れたドライブ名をリストから選択し、[次へ] をクリックします。  
PC 内の成果品データを検査する場合は [参照] から成果品の場所を指定しま  
す。

選択が完了しましたら、[次へ] をクリックします。



対応省庁選択で岐阜県工事設計を選択した場合、Step-1 の画面は下図になります。  
成果品を入れたドライブ名をリストから選択します。

PC 内の成果品データを検査する場合は [参照] から成果品の場所を指定します。  
国土交通省平成 22 年 9 月以降の工事要領で、電子成果品のほかに工事写真、工事帳票  
が受注者より提出されている場合は、それぞれのチェックボックスにチェックを入  
れ、ドライブ名の選択、もしくは [参照] からデータの場所を指定します。  
選択が完了しましたら、[次へ] をクリックします。



(STEP2 は省略)



## 5. 対応要領（案）及び検査するフォルダを指定（STEP3）

- A：要領（案）の年月が表示されている場合は、変更する必要がありません、「選択して下さい」と表示されている場合は、[▼]で選択して下さい。
- B：検査しないフォルダがある場合、チェックをはずして下さい。  
通常はこの設定で問題ありません。[実行]をクリックします。

入力された電子納品成果品の情報

Step 3 対応要領（案）及び検査するフォルダを指定します。

要領（案）の選択

要領（案）の種類

デジタル写真管理情報基準(案)

CAD製図基準(案)

地質・土質調査成果電子納品要領(案)

検査フォルダの指定

MEET(打合せ簿フォルダ)  PLAN(施工計画書フォルダ)

REGISTER(台帳フォルダ)  OTHERS(その他フォルダ)

ICON(i-Constructionフォルダ)  PHOTO(写真フォルダ)

DRAWINGS(発注図面フォルダ)  DRAWINGF(工事完成図フォルダ名)

BORING(地質データフォルダ)

クリア 全て選択

戻る 実行 キャンセル



## 6. 検査の実行

検査が実行され、進捗状態が表示されます。処理が終了すると、完了メッセージ画面が表示されますので、[OK]をクリックします。

検査の実行

電子納品成果品検査の実行

実行状況

電子納品成果品の検査

データをチェックしています  
TS001010.XML

31%

キャンセル

電子納品チェックソフト

処理が完了しました。

OK



## 7. 検査結果の閲覧・保存（出力）・印刷

検査結果を画面上で確認します。結果を保存する場合は、ファイル出力、印刷する場合は、【ファイル出力】あるいは【印刷】をクリックします。

The screenshot shows a software window titled "検査結果" (Check Results) with a sub-tab "適用要領(案)". The window is divided into two main sections: a tree view on the left and a detailed view on the right. The tree view shows a hierarchy of checks, including "XML構成チェック (100) (5)" with sub-items like "INDEX.G.XML (5)", "MEET.XML (1)", "PLAN.XML (1)", "REGISTER.XML (1)", "OTHR.XML (1)", "PHOTO.XML (1)", "DRAWINGF.XML (3) (5)", "BORING.XML (2)", "BED\*.XML (13)", "COREPIC.XML (3)", and "GRNDTST.XML (69)". Below this are "PDFチェック", "CADチェック", "DRAWING(S/F)", "SURVEY", and "日付チェック". The detailed view on the right shows the content of the selected "INDEX.G.XML" file, including a "【ファイル構成チェック】" section with the message "エラーはありません。" and a "【INDEX.G.XML】" section with details about location codes and coordinates. At the bottom of the window, there are three buttons: "PDF出力", "ファイル出力", and "印刷", which are highlighted with a red box. A legend at the bottom left explains that red numbers indicate errors and black numbers indicate warnings.

検査結果

適用要領(案)

全表示  エラーのみ表示  注意のみ表示

すべての検査結果

- ファイル構成チェック
- XML構成チェック (100) (5)
  - INDEX.G.XML (5)
  - MEET.XML (1)
  - PLAN.XML (1)
  - REGISTER.XML (1)
  - OTHR.XML (1)
  - PHOTO.XML (1)
  - DRAWINGF.XML (3) (5)
  - BORING.XML (2)
  - BED\*.XML (13)
  - COREPIC.XML (3)
  - GRNDTST.XML (69)
- PDFチェック
- CADチェック
- DRAWING(S/F)
- SURVEY
- 日付チェック

【ファイル構成チェック】  
エラーはありません。

【INDEX.G.XML】  
【INDEX.G.XML】  
[住所コード]  
<住所コード>11011</住所コード>  
記入された値は住所コード表と一致しません。

【INDEX.G.XML】  
【東側境界座標経度】  
<東側境界座標経度>1344638</東側境界座標経度>  
緯度、経度が愛媛県の範囲を超えています。愛媛県の領域の範囲は以下のとおりです。  
緯度: 0325305~0341806  
経度: 1320045~1334135

【INDEX.G.XML】  
【南側境界座標緯度】  
<南側境界座標緯度>0335009</南側境界座標緯度>  
「西側と東側」「北側と南側」の座標を入れ間違えている可能性があります。  
確認の上、記入してください。

赤字【例:(1)】はエラー数を表します。  
黒字【例:(1)】は【注意】数を表します。

PDF出力    ファイル出力    印刷